

環境活動レポート 2009 年度版

(2009 年 4 月～2010 年 3 月)



エコアクション21

認証・登録番号 0003474

作成日：2010 年 5 月 31 日

(一部改定：2011 年 3 月 16 日)

株式会社アサカ機工



目 次

1	会社概要P 3
2	環境方針P 4
3	推進体制P 5
4	環境目標とその実績P 6
5	主要な環境活動計画の内容P 7
6	環境活動の取組結果の評価P 8
7	代表者による評価P 8
8	環境関連法規への違反と訴訟等の有無P 9
9	環境活動レポートの公表P 9

1 会社概要

商号	株式会社 アサカ機工
所在地	埼玉県新座市野火止 1 丁目 10 番 6 号
連絡先	TEL : 048-481-2151(代) FAX : 048-481-2154 http://www.ask-k.co.jp
■ 役員	代表取締役社長 仲田 拓司 取締役会長 坂本 公男 常務取締役 仲田 和子 取締役 坂本 千代子
環境管理責任者	熊谷 健太郎
事業内容	機械工具（切削工具 測定工具 作業工具）の販売、及び空油圧機器、その他工場用品全般の販売
創業・設立	創業：昭和 48 年 4 月 設立：昭和 49 年 1 月
資本金	1,000 万円
決算期	3 月末日 締切
売上高	310 百万円
■ 従業員	10 人
■ 述べ床面積	188.7 m ²
■ 車台数	8 台（乗用車）

【事業内容】

地域に根差した機械工具商社として創業以来、ものづくりを支えるツールアドバイザーとして最適な商品・情報・サービスを提供させていただいております。

技術に優れた企業集団としての真価を発揮して、営業力の強化、敏速な対応に努めるとともにお客様の生産性の向上とコスト削減を確実に進め、競争力の強化に取り組んでまいります。地域に必要とされる企業を目指し鋭意努力してまいります。

2 環境方針

環境方針

アサカ機工は、機械工具等の販売活動の上で環境負荷の低減が最重要課題であると受け止め、環境保全の目標を掲げ継続的に自主的な活動に努めるとともに、環境関連法規を遵守し社会に貢献します。

【基本理念】

株式会社アサカ機工は「ものづくり生産性向上支援事業」を通じて、お客様と共に喜びを味わえる会社づくりを目指しております。生産性を上げる事が生産コストを下げる事だけでなくCO2削減につながる事をより多くの方に知ってもらい、環境活動を社会全体で行う仕組み作りの為の努力を惜しまない。

【取り組み内容】

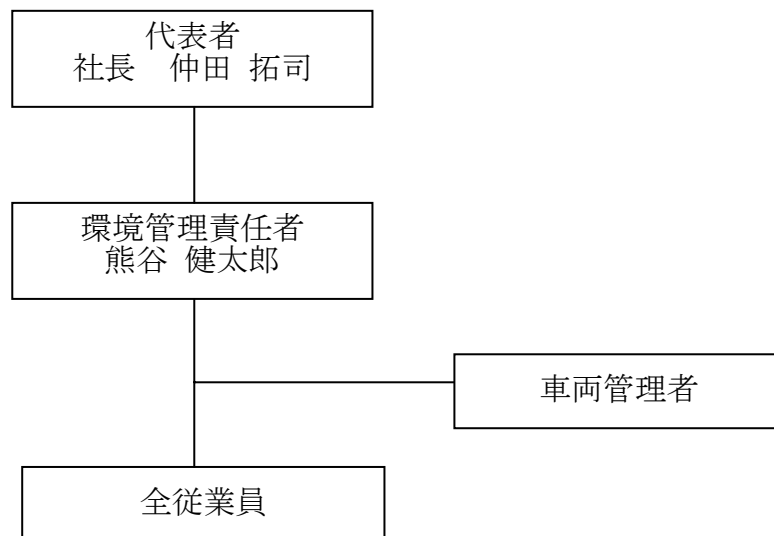
- ① アイドリングストップ
- ② リサイクルの徹底
- ③ 営業ルートの合理化を図り、ガソリン消費量の削減に努める
- ④ ごみ分別の徹底
- ⑤ 節電など

制定日 2008年8月1日

株式会社 アサカ機工
代表取締役社長 仲田 拓司

3 推進体制

— 株式会社アサカ機工環境経営組織図 —



	役割・責任・権限
代表者 仲田 拓司	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・活動計画書の作成 環境活動レポートの承認 全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者 熊谷 健太郎	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成 環境目標・環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境活動レポートの作成
車両管理者	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブの推進
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4 環境目標とその実績

株式会社アサカ機工は、2008年8月1日よりエコアクション21取得に向け、電力・ガソリン使用量の削減を行う。目標としては、前年度比1%以上の削減を掲げる。

具体的な活動としては、使用していない電気を消すなどの省エネ活動により社員に省エネ意識を持たせる。又、二酸化炭素の排出にも繋がり且つ、環境負荷の高い自動車におけるアイドリングストップの徹底を図る。

中期目標として、3年間で2007年度の実績値から各年1%削減を目標とする。

環境中期目標と過去の実績

	07年度実績値	08年度実績値	09年度目標値	10年度目標値	11年度目標値
廃棄物量(kg/年)	—	9.0	26.7	26.4	26.1
ガソリン(L/年)	13,553	12,806	13,300	13,150	13,000
電気(kWh/年)	17,248	16,467	16,900	16,730	13,560
上下水道(m ³ /年)	200	195	196	194	192
二酸化炭素(kg-CO ₂ /年)	37,985	37,701	37,200	36,800	36,400

※ 年度は4月から翌年3月までとする。

※ 東京電力07年度係数0.425を使用

5 主な環境活動計画の内容

具体的手段	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	責任者	
・廃棄物排出量の削減														環境管理責任者
→廃棄物/リサイクル資源 分別重量の記録・確認	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
→廃棄物削減/リサイクル資源分別管理の教育		→												
→廃棄物重量の中間報告	→				→				→					
・ガソリン使用量の削減														車両管理者
→ガソリン使用量/車両管理表の記録・確認	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
→エコドライブの教育				→										
→営業/配送ルートの見直し												→		
→ガソリン使用量の中間報告	→				→				→					
・電力使用量の削減														環境管理責任者
→電力使用量の記録・確認	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
→不要照明/OA 機器の節電	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
→エアコン使用時の室温管理			→	→	→	→		→	→	→	→	→		
→電力使用量削減の教育				→										
→電力使用量の中間報告	→				→				→					
・灯油使用量の削減														環境管理責任者
→灯油使用量の記録・確認									→	→	→	→		
→ファンヒーター使用時の室温管理									→	→	→	→		
→灯油使用量削減の教育									→					
→灯油使用量の中間報告	→								→					
・排水量の削減														環境管理責任者
→上下水道使用量の記録・確認	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
→排水量削減の教育					→									
→上下水道使用量の中間報告	→				→				→					
・二酸化炭素排出量の削減														環境管理責任者
→二酸化炭素排出量の記録・確認	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
→二酸化炭素排出量削減の教育			→											

6 環境活動の取組結果の評価

	09年度目標値	09年度実績値	対目標比率	評価
廃棄物量 可燃ゴミ (kg)	26.7	16.4	61%	○
ガソリン(L)	13,300	11,810	89%	○
電 気(kwh)	16,900	15,505	92%	○
上下水道(m ³)	196	100	51%	○
二酸化炭素(kg-CO ₂)	37,200	35,345	95%	○

評価基準：比率 100%未満 ○ 100～129% △ 130%以上 ×

7 評価者〈代表取締役社長 仲田 拓司〉

昨年3月エコアクション2.1認定を受け更に会社全体の意識を高めるための勉強会及び会議を行い、より細かく削減方法を考え実行していた。クールビズのバッジを購入し、胸ポケットに取り付け社内外でのPR活動と意識付け。トイレや水道の蛇口全てに節水コマを設置したところ効果がよく出ていた。ガソリンに関しての目標は達成しているものの売上減少、景気の動向に左右されていることを考慮するとあまり喜べる数字ではない。しかし5項目全て目標を達成していることを考えると環境に対する認識を深めた結果と思います。

今後の取り組み

昨年度、目標項目以外の数字を把握するために実験的に計測したところ、可燃ごみ削減よりもカタログ処分量(リサイクル)が多いことが分かった。不必要な部数が無意識的にもらっていたのが原因で改めてリデュースを意識する。グリーン購入については文房具品やコピー用紙等を積極的に調達し、販売に対しても該当商品にグリーン購入法適合商品がある場合は積極的に得意先に呼びかけをし推進して行く。

8 環境関連法規への違反と訴訟等の有無

下記の法律について、自主評価の結果、環境関連法規への違反はありませんでした。
また、創業以来現在まで、関係当局より違反・訴訟などの指摘はありません。

環境法等	主な規制対象	順守評価結果
1. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	ゴミの分別	OK
2. 自動車リサイクル法	廃棄時の適正処理	廃棄処理無し
3. 家電リサイクル法	廃棄時の適正処理	廃棄処理無し
4. 埼玉県生活環境保全条例	アイドリングストップ	OK

9 環境活動レポートの公表

株式会社アサカ機工において、環境活動レポートは、自社のホームページで公表すると共に、印刷物を事業所に置き、いつでも閲覧できる体制にしております。